生命を科学する 明日の医療を切り拓く

# 実販医学

2017年 **11 月号** Vol.35 No.18

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、実験医学2017年11月号を右記内容にて発行いたします。つきましては、貴社の優秀な機器・試薬・サービス・書籍等をアピールする場として本誌面をぜひご活用いただきたく、広告掲載のご案内を申し上げます。

敬具

### ページ広告

掲載面	刷色	スペース	掲載料金 (税別)
表紙4	4色	1P	300,000
表紙2	4色	1P	250,000
表紙2対向	4色	1P	200,000
表紙3	4色	1P	200,000
表紙3対向	4色	1P	150,000
衣紙の刈凹	1色	1P	110,000
前付	4色	1P	150,000
		ブリード版	165,000
	1色	1P	110,000
中付	4色	1P	150,000
(記事中)	1色	1P	110,000
後付	1色	1P	90,000
俊钊		1/2P	55,000
差込(持込み)		1枚	200,000
タイアップ広告 (記事広告)	4色	2P	380,000

\*写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます。

### INFORMATION 1枠 (1/3P) あたり

掲載内容	掲載料金 (税別)
人材募集(企業研究員など)	40,000
セミナー・研究会等の告知	20,000
共同研究・技術講習会の告知	20,000
試薬・機器・サービス等の キャンペーン	40,000
サンプル・デモ機等のモニター募集	40,000

●年間掲載での割引 (掲載面問わず:事前申込の場合のみ適用)

3%

5% 10%

### 発行概要

● 発行部数 : 12.000部

● **発行日** : 2017年 10月 20日 (金) 予定

広告申込概要 B5判オフセット印刷

申込締切日……2017年 9月 7日 (木) 原稿締切日……2017年 9月 14日 (木) ※日程は変更になる場合がございます

※広告の掲載内容を確認させていただく場合がございます

[モノクロ広告] データ<sup>※</sup>またはポジフィルム(膜面:下 133線)

1頁 ······天地 220 mm ×左右 150 mm 1/2頁 ······天地 105 mm ×左右 150 mm

[カラー広告] データ<sup>※</sup>または4色分解ポジフィルム(膜面:下 175線)

1頁 ……天地 220 mm ×左右 150 mm

ブリード版 ……天地 257 mm ×左右 182 mm

表紙 4 ……天地 192 mm ×左右 150 mm

表紙 4 ブリード ……天地 202 mm ×左右 160 mm

### ※入稿形式(データの場合):Adobe Illustrator

使用したOSとソフトのバージョンをご明記下さい. データは必ず**アウトライン化**して下さい

### 【発行元】株式会社 羊土社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-5-1 TEL 03-5282-1211 FAX 03-5282-1212 URL http://www.yodosha.co.jp/

### 【広告総代理店】株式会社 エー・イー企画

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 岩波書店一ツ橋別館4F TEL 03-3230-2744 FAX 03-3230-2479 E-mail:adinfo@aeplan.co.jp

 $\exists$ 

## 広告掲載申込書

下記の通り、	「実験医学	(2017年11月号)	J	に広告掲載致します。	4	•	月

貴社名	:		TEL:		FAX:	
所在地	:〒					
担当者	名:	所属		E-mail:		
	掲載場所:		頁/枚	掲載料金:		
	支払方法:			支払日:		

実験医学2017年11月号(Vol.35 No.18)広告のご案内

9羊土社

# 造血の制御と破綻(仮題)

企画/石川文彦 (理化学研究所統合生命医科学研究センター)

自血球や赤血球など血液細胞がつくられることを「造血」といいます。古くからこの血液細胞の大元となる「造血幹細胞」の存在が知られ、その分化制御メカニズムの解明が幹細胞生物学をリードしてきました。しかし、多種多様な血液細胞を生み出す造血システムは精緻で、1つの謎を解明する度、より複雑化した課題が生まれています。本特集では、新技術やユニークなアプローチにより切り開く新しい造血研究をテーマとして、世界第一線の研究者に造血幹細胞の基礎的な機構からその破綻による造血器腫瘍とその治療までの最新研究をご紹介いただきました。

- ◆ 概論一「造血(hematopoiesis)」が切り拓く研究とは… 石川文彦(理化学研究所統合生命医科学研究センター)
- ◆ 破綻を来した造血"スプライソゾーム異常と造血器腫瘍" 井上大地 (Memorial Sloan Kettering Cancer Center)
- ◆ 骨髄環境の理解と造血制御

山崎 聡 (東京大学医科学研究所)

◆ ヒトにおける正常造血と白血病の理解

平松英文(京都大学医学部附属病院)

清田 純 (理化学研究所統合生命医科学研究センター)

◆ 胎生期造血

◆ リンパ球造血

- 吉本桃子 (University of Texas Health Science Center at Houston)
- ◆ 造血を読み解くinformatics
- ◆ 造血における幹細胞と代謝

- 横田貴史(大阪大学大学院医学系研究科)
  - 中田大介 (Baylor College of Medicine)

# 本特集に関連するキーワード・技術

- ◆造血幹細胞 ◆幹細胞ニッチ ◆免疫細胞 ◆白血病(AML, ALL, CML) ◆数理解析
- ◆イメージング ◆ゲノム編集、CRISPR/Cas9 ◆フローサイトメトリー ◆低酸素チャンバー
- ◆細胞培養キット◆免疫染色, 抗体◆マウスモデル, ヒト化マウス◆骨髄移植 …等

# 本号へのご出稿のポイント

- 日本血液会学術総会 (10/20~22, @東京), ConBio2017 (12/6~9, @神戸) にて販売予定,注目必至
- 再生医療への応用や,血液がんの治療など 臨床医や創薬研究者も注目する話題が豊富です!
- ◆ 特集内容にあわせて、求人・共同研究の募集、セミナー開催、キャンペーン・ 製品デモを告知できます(INFORMATIONコーナー、詳細は裏面へ)

特集:造血の制御と破綻(仮題)

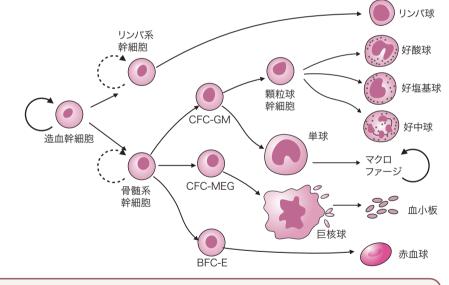
企画/石川文彦 (理化学研究所統合生命医科学研究センター)

# 本特集テーマの企画の背景

ヒトの体内では、毎日数1,000億もの血液細胞が作られては(浩血)、破壊されるサイクルが絶えず繰り返されてい ます、造血システムは細胞の増殖・分化を解析する最良のモデルであり、そのバランスの破綻は白血病や悪性リン パ腫などの重篤な疾患に直結するため、基礎・臨床の両面で意義深いテーマとして、1960年代より盛んに研究が進 められてきました.

造血研究は長い歴史がある一方で、未だに魅力的な課題を擁しており、多くの研究者を惹きつけています、例え ば造血幹細胞の未分化性維持について、骨髄内のアミノ酸組成や酸素分圧などの微小環境が果たす具体的な役 割が近年明らかになってきました。また、造血研究の主要なテーマの1つである。ヒトにおける胎生期の造血システ ム(一次造血)が成体型のシステム(二次造血)にシフトするきっかけと相互関連についても、有力な仮説が生まれ ています、さらに、免疫老化につながる、造血細胞が分化する細胞の種類への方向付けについても詳細な理解が得 られつつあります.

本特集では、ダイナミックか つ精緻な造血システムを、ヒ ト化マウス、インフォマティク ス.ゲノム編集など新世代の 先端手法で明らかにし,幹細 胞移植などに代表される造 血器腫瘍・白血病治療の臨 床応用まで,基礎から臨床へ の道が見えてくる内容をご紹 介します.



クローズアップ実験法

「miRNAスイッチ型CRISPR-Cas9を用いた細胞種特異的なゲノム編集法(仮)」

村越秀治 (生理学研究所)

Update Review

「5-アミノレブリン酸(5-ALA)~その生体機能と多彩な疾患への応用(仮)」

千葉櫻 拓 (東京農業大学), 中島元夫 (SBIファーマ株式会社)

News & Hot Paper DIGEST / カレントトピックス … ★その他人気連載を多数掲載!

# 実験医学からのお知らせ

「実験医学 INFORMATION」で 求人・セミナー・共同研究・ キャンペーン・モニター ... を告知しませんか?



誌面に掲載した情報は、内容そのままで

「WEB:実験医学 online」「メールマガジン:羊土社ニュース」

にも無料掲載。1回のお申込で同時に3種類の媒体で紹介できます!



<メールマガジン>羊+計ニュース NFORMATIONコーナー:人材高集/財産キャンペーンなどの新着情報 新着情報を随時、実験医学誌に先がけてご紹介しています 興味のある内容がありましたら、下記羊土社ホームページをご覧下さ ●国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター 個体パターニング研究チーム 『研究首募集』 ●国立障害者リハビリテーションセンター研究所 『森安昌 (ポスドクまたは博士課程大学院生) 若干名募集



実験医学2017年12月号 (Vol.35 No.19)

「少数性生物学への誘い〜投じられた、マイナー因子が広げる波紋(仮)」

企画/永井健治(大阪大学産業科学研究所)

◆マイナー因子 ◆化学反応 ◆ウイルス感染 ◆ヌクレオソーム構造

# ● 以下の **増刊号でも広告出稿をご案内しています** ●



Vol.35 No.17

「疾患データベースとバイオバンク(仮)」

編集/山本雅之, 荻島創一 (東北メディカル・メガバンク機構)



Vol.35 No.20

⇒詳細はお問い合わせください

「Productive Agingを実現する老化・寿命研究の最先端(仮)」

編集/今井眞一郎, 吉野 純 (ワシントン大学), 鍋島陽一 (先端医療振興財団)